

第2次北九州市生物多様性戦略の 進捗評価報告(令和3年度実績)について

本市の生物多様性に関するこれまでの取組

- 平成17年9月、政令市で初めて、自然環境保全の基本計画である「北九州市自然環境保全基本計画」を策定
- 平成22年11月、生物多様性基本法の制定を受けて、北九州市自然環境保全基本計画を改訂する形で「北九州市生物多様性戦略」を策定
- 平成28年3月、生態系サービスや生物多様性の危機等の新しい視点を盛り込んだ「第2次北九州市生物多様性戦略」を策定

第2次北九州市生物多様性戦略の構成

《2015年度～2024年度》

- ◆ 基本理念：都市と自然との共生～豊かな自然の恵みを活用し自然と共生するまち～
- ◆ 5つの基本目標と12の方向性、60の基本施策を設定

基本目標		方向性	
1	自然とのふれあいを通じた生物多様性の重要性の市民への浸透	1	自然環境にふれあう機会の創出
		2	農林水産業の活性化と地産地消を通じたふれあいの推進
		3	里地里山の利用と活用
2	地球規模の視野を持って行動できるような高い市民環境力の醸成	4	環境教育・学習の推進、普及啓発
		5	自然環境に精通した人材の育成
3	自然環境の適切な保全による、森・里・川・海などがもつ多様な機能の発揮	6	生態系ネットワークの形成
		7	地域固有の生態系の保全と利用
		8	希少種の保全及び外来種の対策
4	人と自然の関係を見直し、自然から多くの恵みを感じることができる状態の維持	9	自然と調和した都市基盤整備の促進
		10	事業の実施に伴う環境配慮
5	自然環境調査を通じて情報を収集、整理、蓄積し、保全対策などでの活用	11	自然環境調査の実施とデータベースの構築
		12	市民参加による自然環境情報の収集

2

戦略の推進に向けた数値目標

基本目標1 自然とのふれあいを通じた生物多様性の重要性の市民への浸透

番号	項目	単位	目標値
1	本市が取り組む環境学習プログラムとしてのエコツアー参加人数	人	6,500
2	響灘ビオトープのガイドツアー参加人数	人	4,000
3	自然環境体感ツアーの参加人数	人	500 (累計)

基本目標2 地球規模の視野を持って行動できるような高い市民環境力の醸成

番号	項目	単位	目標値
1	小学生の環境体験科における響灘ビオトープ活用数	校	25
2	響灘ビオトープのガイドツアー参加人数【再掲】	人	4,000

基本目標3 自然環境の適切な保全による、森・里・川・海などがもつ多様な機能の発揮

番号	項目	単位	目標値
1	自然環境保全に取り組む団体への支援件数	件	10
2	「北九州市自然環境保全ネットワークの会」参加団体等が開催する自然環境保全活動参加者数	人	約2,000

基本目標4 人と自然の関係を見直し、自然から多くの恵みを感じることができる状態の維持

番号	項目	単位	目標値
1	環境首都100万本植樹プロジェクトによる植樹本数	本	1,000,000 (累計)
2	市街地(市街化区域)の緑の確保	%	9.5 (累計)

基本目標5 自然環境調査を通じて情報を収集、整理、蓄積し、保全対策などでの活用

番号	項目	単位	目標値
1	ベッコウトンボ市民調査実施回数	回	3
2	曾根干潟における生物調査の実施	回	4

3

基本目標 1

自然とのふれあいを通じた
生物多様性の重要性の市民への浸透



◆数値目標

	項目	目標値	R03	R02	R01
1	本市が取り組む環境学習プログラムとしてのエコツアー参加人数	6,500人	1,512	895	4,352
2	響灘ビオトープのガイドツアー参加人数	4,000人	2,704	2,432	4,987
3	自然環境体感ツアーの参加人数	500人(累計)	790	642	579

◆基本施策に基づく主な取組

- ・響灘ビオトープガイドツアー・自然体感講座
(エコツアー(自然観察講座))
- ・種苗放流(約200万尾)藻場等の環境保全活動(5箇所)
(水産環境の保全)
- ・竹の搬出(151t)・竹粉碎機の貸出(19件)
(里山の新しいあり方の検討)



4

基本目標 2

地球規模の視野を持って
行動できるような高い市民環境力の
醸成



◆数値目標

	項目	目標値	R03	R02	R01
1	小学校の環境体験科における響灘ビオトープの活用校数	25校	4	6	11
2	響灘ビオトープのガイドツアー参加人数【再掲】	4,000人	2,704	2,432	4,987

◆基本施策に基づく主な取組

- ・首都検定(受験者 5,502人)
- ・エコライフステージ(参加者 30万人)
(環境学習事業の推進)
- ・SDGs環境アクティブ・ラーニング
(実施校 28校(応募校 84校))
(学校教育における自然環境に視点を当てた教育の推進)



5

基本目標 3

自然環境の適切な保全による、
森・里・川・海などがもつ多様な
機能の発揮

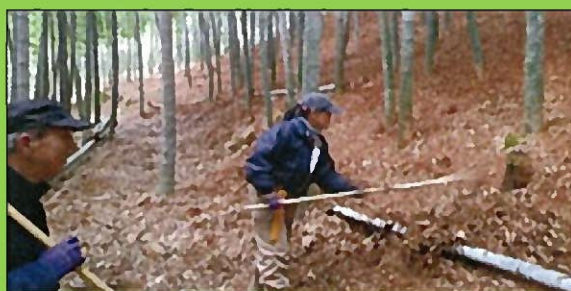


◆数値目標

	項目	目標値	R03	R02	R01
1	自然環境保全に取り組む団体への支援件数	10件	9	9	13
2	「北九州市自然環境保全ネットワークの会」参加団体等が開催する自然環境保全活動参加者数	約2,000人	約2,500	約2,000	約1,000

◆基本施策に基づく主な取組

- ・市民いっせいまち美化の日
（まち美化ボランティア参加者 56,982人）
（さまざまな主体による美化活動の一環としての自然環境の保全）
- ・自然環境保全活動や普及啓発活動を行う団体への支援（補助団体数 9団体）
（自然環境保全活動支援事業）



基本目標 4

人と自然の関係を見直し、自然から
多くの恵みを感じることができる状態の維持



◆数値目標

	項目	目標値	R03	R02	R01
1	環境首都100万本植樹プロジェクトによる植樹本数	1,000,000本 （累計）	750,233	739,033	727,046
2	市街地（市街化区域）の緑の確保	9.5% （累計）	8.4	8.4	8.4

◆基本施策に基づく主な取組

- ・R03末時点での累計植樹本数 750,233本
（環境首都100万本植樹プロジェクト）
- ・鳥がさえずる緑の回廊植樹会（約1,500本植樹）
（響灘・鳥がさえずる緑の回廊による響灘埋立地の緑の創成）
- ・環境配慮点検制度の運営（50件の公共事業について点検）
（北九州市環境配慮指針の活用推進）



基本目標 5

自然環境調査を通じて情報を収集、整理、蓄積し、保全対策などでの活用



◆数値目標

	項目	目標値	R03	R02	R01
1	ベッコウトンボ市民調査実施回数	3回	1	0	0
2	曾根干潟における生物調査の実施	4回	8	8	8

◆基本施策に基づく主な取組

- ・ 曾根干潟環境調査（鳥類調査、底生動物等調査）
- ・ 曾根干潟モニタリングサイト1000（環境省実施）
（実態把握の推進）
- ・ 「自然環境情報GISデータベース」の構築
希少種や外来種の分布情報データを掲載した庁内GISデータベースの運用を開始
（GISを用いた自然情報データベースの充実と維持管理）

8

本戦略の総合評価

- 本戦略に掲げている基本目標の達成に向けた60の基本施策は、ほぼ全て取組を実施
- 新型コロナウイルス感染症対策により、市民参加型施策に影響はあったが、その他の施策は概ね順調に目標値に向かって進捗

今後の取組

- COP15で「新たな生物多様性枠組」が採択されたことや、「次期国家戦略」の策定を受け、本市戦略を改訂
- 国際約束である「30by30目標^{*1}」の達成に向け、市域内の「OECM認定登録^{*2}」を推進

※1：2030年までに陸と海の30%以上を保全する国際約束

※2：国立公園等の法で定められた保護地域以外で生物多様性に資する地域として、国が令和5年度から認定登録を開始

9